

世界遺産への道

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

神宿る島

玄界灘の真ただ中に位置する沖ノ島は、日本と大陸との交流の航路において道しるべとなる島であり、その荘厳な形状から神宿る島として信仰の対象となっていました。沖ノ島へは一般の人の立ち入りは、厳格な禁忌によって制限されているため、沖ノ島を遠くから拝む「遥拝」という伝統ようはいが生まれ、今も受け継がれています。

大島の御嶽山から沖ノ島を選択

新原・奴山古墳群を世界遺産に！

届け私の思い

今月は交通関係のかたに話を聞きました。

バスからの眺めもいいですよ



ふくつミニバス運転手
金子 繁幸 さん

ふくつミニバスの勝浦線は、古墳群周辺を走っています。車内から古墳群の眺めを楽しめます。乗客への情報提供として車内にパンフレットがあれば、世界遺産のPRにも役立つと思いますよ。

ゆっくり古墳見学はいかが



つやざき観光馬車
増田 美佐子 さん

古墳群を観光馬車で案内しています。徒歩と同じスピードの馬車に乗り、ゆっくり、のんびりとした古墳見学はここでしか味わえません。いつまでも自然豊かな環境を守って欲しいです。

ステッカーを貼って応援しています



タクシー運転手
沼田 国次さん

世界遺産登録を応援するために、宗像タクシー協会ではタクシー約200台にPRステッカーを貼っています。古墳群、宮地嶽神社、津屋崎千軒、あんずの里を巡るコースは、食事やショッピングも楽しめます。

発行 福津市 編集 広報秘書課 〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1 印刷 久野印刷株式会社

広報 福津 2016 11

No. 142



広報秘書課 〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

印刷 久野印刷株式会社

